

朝日小学校からの報告

「みずすまし」水生生物調査結果表

調 査 場 所 名 (No.)			朝日小学校前の川 No.1				朝日山神社前の川 No.2				余呉川一条橋 No.3			
月 日 時 刻			6月10日 15時00分		6月17日 15時00分		6月24日 15時00分							
天 気			曇り		晴れ		晴れ							
水 温 (°C)			20.0 °C		22.0 °C		23.0 °C							
気 温 (°C)			15.0 °C		24.0 °C		28.0 °C							
川 幅 (m)			1.4 m		1.3 m		8.6 m							
河 川 名			水路		水路		余呉川							
生 物 を 採 取 し た 場 所			全面		全面		全面							
水 深 (cm)			11.0 cm		18.5 cm		30.0 cm							
流 速 (cm / s)			37.0 cm/s		83.0 cm/s		36.0 cm/s							
水 の よ う す		指標生物												
I き れ い	1	カワゲラ類												
	2	ナカレビゲラ・ヤマトビゲラ クロツツビゲラ類							●					
	3	ヒラタゲロウ類												
	4	ブユ類												
	5	ヘビトンボ類												
	6	ガガンボ類	○		○									
	7	サワガニ			●									
I・II 共通	8	ウスムシ類												
	9	2以外のビゲラ類			○									
	10	3、14以外のカゲロウ類	○											
II 少しよごれている	11	ヒラタロムシ類					○							
	12	ジジミ類			○									
II・III 共通	13	カワニナ	●		○									
III よごれている	14	サホコカゲロウ												
	15	ヒル類												
	16	ミスムシ												
	17	モノアラガイ												
III・IV 共通	18	サカマキガイ												
IV 大変よごれている	19	赤いユスリカ												
	20	イトミミズ類												
	21	ハナアブ類												
水 質 判 定 表	水のようすの区分		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
	1	みつかった指標生物の 種類の計 (○+●)	2	2	1		3	3	1		1	1		
	2	みつかった指標生物のうち 一番数の多くあった種類(●)		1	1		1				1			
	合 計 (1欄+2欄)		2	3	2		4	3	1		2	1		
	判定結果(合計が最も大きい区分)		II				I				I			

「みずすまし」水生生物調査結果表

調 査 場 所 名 (No.)			朝日小学校前の川 No.4				五坪理髪店前 No.5				No.6				
月 日 時 刻			10月7日 15時00分				10月21日 15時00分								
天 気			晴れ				曇り								
水 温 (°C)			23.0 °C				18.0 °C								
気 温 (°C)			27.0 °C				19.0 °C								
川 幅 (m)			1.4 m				1.6 m								
河 川 名			水路				丁野木川の支流								
生 物 を 採 取 し た 場 所			全面				全面								
水 深 (cm)			10.0 cm				20.0 cm								
流 速 (cm / s)			24.0 cm/s				54.0 cm/s								
水 の よう す		指 標 生 物													
I き れ い	1	カワゲラ類													
	2	ナガレトビケラ・ヤマトビケラ クロツツトビケラ類													
	3	ヒラタカゲロウ類													
	4	ブユ類													
	5	ヘビトンボ類													
	6	ガガンボ類													
	7	サワガニ		○											
I ・ II 共 通	8	ウスムシ類													
	9	2以外のトビケラ類						○							
	10	3、14以外のカゲロウ類													
II 少しよごれている	11	ヒラタロムシ類													
	12	ジジミ類		○				○							
II ・ III 共 通	13	カワニナ		●				●							
III よごれている	14	サホコカゲロウ													
	15	ヒル類													
	16	ミスムシ													
	17	モノアラガイ													
III ・ IV 共 通	18	サカマキガイ													
IV 大変よごれている	19	赤いユスリカ													
	20	イトミミズ類													
	21	ハナアブ類													
水 質 判 定 表	水のようすの区分		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	
	1	みつかった指標生物の 種類の計 (○+●)	1	2	1		1	3	1						
	2	みつかった指標生物のうち 一番数の多くあった種類(●)		1	1			1	1						
	合 計 (1欄+2欄)		1	3	2		1	4	2						
	判定結果(合計が最も大きい区分)		II				II								

令和元年度 朝日小学校の取組

令和元年度は14名(6年生8名・5年生2名・4年生4名)の隊員でみずすましクラブの活動を行いました。今年度は、「1: 昨年と今年の調査結果を比較し身近な水環境を考える」ことをめあてにして取り組みました。調査が実施できた場所は、「朝日小学校前の川」「朝日山神社前の川」「余呉川一条橋付近」「五坪散髪屋周辺」の4地点です。

さらに、余呉川の源流調査を行い、水域による川の様子の変化や違いを考えました。

水生生物調査結果

1 朝日小学校前の川の結果 〈調査日〉1回目: 6月10日(月) 2回目: 10月7日(月)

今年度初めて調査を行う子どもは「どんな生き物がいるのか楽しみだな」と期待に胸を膨らませ、経験者は「昨年は見つけれなかった生き物を見つけたい」と意欲的に活動できました。

指標生物について、昨年は2: トビケラ類から13: カワニナまでの層に加え、20: イトミズ類が1匹見られました。それに対し、今年は6: ガガンボ類から13: カワニナまでの層に留まりました。

また、水の汚れや高水温に弱いとされるマツカサガイや、その他の生物として、4種の魚と2種のヤゴが見つかりました。

今年の結果から、朝日小学校前の川は、きれいな状態が保たれていることがわかります。ただ、CODの値がここ数年で安定し4から5の数値を示していましたが、今年の結果は8を示しました。この結果が気になる子どもたちの様子が伺えました。

その要因として、湖北野鳥センターの植田先生は、

- ・生物が少なかった理由として、調査日の前日に雨が降ったため、川の流が速く、生息していた生物が流されてしまった可能性があります。
- ・CODの結果が悪かった理由として、天候や周辺の田んぼの関係で、たまたま汚れていたとも考えられます。

と説明してくださいました。子ども達も納得した様子で、学校周辺が良い環境であることをとても喜んでいました。

そして今年は、同じ場所を2回目の調査として10月に実施しました。指標生物としては6月と同じような生物が見つかりましたが、その他の生物として、アブラボテやナマズなど5種類の魚が見つかりました。その数は6月より多く、気温や水温などの季節による環境の変化がこれだけ大きいのだと感ずることができました。



2 朝日山神社前の川の結果 〈調査日〉6月17日(月)

指標生物については、「I: きれい」の6: ガガンボから13: カワニナまでが見られました。この結果は、昨年と同様の傾向を示しています。その中には、昨年は見られなかった、ムラサキトビケラやコガタシマトビケラも見つかりました。また、7: サワガニが多数見つかったことから、指標生物は上方に寄っていることが考えられ、昨年同様、良い環境が保たれていることが推測されます。



魚の結果では、4種類の魚の他に、朝日小学校前の川でも見つかったマツカサガイやイシガメ、4種類のヤゴも見つけました。

3 余呉川一条橋付近の結果 〈調査日〉6月24日（月）

昨年、同じ場所を調査したときは、2：ナガレトビケラ類から20：イトミミズ類まで幅広く見つけることができました。しかし、今年見つかった指標生物は、2：ナガレトビケラ類と11：ヒラタドロムシ類の2種類だけでした。「Ⅰ：きれい」の生物が多かったことから、この場所も良い水環境が整えられていると伺えますが、昨年と比較する子どもたちは、見つかった生物が少なかったことに疑問を持っていました。

見られた魚や生物は、タナゴ、カワムツ、ヨシノボリ、ドンコに2種類のヤゴでした。昨年多くみられたアメリカザリガニの数は減少していました。昨年と比べると、みられる生物の種類に違いがあることがわかります。

4 五坪散髪屋付近の結果 〈調査日〉10月21日（月）

学校周辺から少し離れた川を調査するのは、これが初めてでした。この場所は昨年から調査を始め、今年で2回目です。

見つけた指標生物は、2：のトビケラ類、12：シジミ類、13：カワニナ類でした。13：カワニナ類が一番多く、この結果は昨年と同様でした。見つけた魚はカワムツだけで、昨年より少なかったです。その他の生物としては、ヌマエビとスジエビが多く、網を使うと必ずとれるほどでした。

この結果は10月という時期も関係しているようです。昨年と同じ時期に調査を行ったので、今後は時期をずらして調査してみたいと考えています。

余呉川の源流調査 〈調査日〉11月25日（月）

朝日学区から北へおよそ2km。高月町熊野に余呉川の源流があります。同じ川でも中流や上流などの水域によって、どのような違いがあるのかを調査しました。

朝日学区内を流れる余呉川中流の川幅は約10mあります。そこから上流に向けて遡るにつれ、次第に川幅は狭くなり、見られる植物などの様子も変化していきました。源流近くになると川幅は約60cmになります。それを見た子どもたちは、「あんなに大きな川の水源は、こんなに狭かったのか」と驚いた様子でした。



調査のまとめ

昨年度と比較してみると、全体としては「Ⅰ：きれい」から「Ⅱ：少しよごれている」の指標生物を多く見つけたことから、学校周辺の水環境は変わらず生物にとってすみやすいものに保たれていることがわかりました。しかし、COD 結果なども考えると、水環境は周辺的环境によって大きく影響を受けることがわかり、必ずしも保たれているとは言い切れない状況だと考えられます。

この地域の環境を守っていくには、調査によって得たデータをもとに環境の状態を知るとともに、水環境を中心とした自然環境全体を守ろうと意識することが大切になります。そのような思いが、子どもたちの中に育ってきたことを感じることができました。